

取扱説明書

K 970 リング



本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

日本語

マークの説明

シンボルマークの意味

警告！警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本製品は、適用される EC 指令に準拠しています。

警告！切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。ガソリンの蒸気や排気を吸い込まないように注意してください。常に換気を十分に行ってください。

警告！キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。

警告！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。

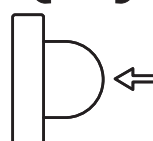
チョーク

エアパージ

デコンパバルブ

給油、ガソリン / オイル混合

環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



マシンに付いている他のシンボル / ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。

警告レベルの説明

警告は三つのレベルで構成されます。

警告！



警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

注意！



注意！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周囲に損傷を与えたりする危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、材料やマシンに損傷を与える危険があることを意味します。

目次

目次	
マークの説明	
シンボルマークの意味	2
警告レベルの説明	2
目次	
目次	3
概要	
お客様へ	4
特長	4
各部分の説明	
パワーカッターの各部名称	5
マシンの安全装置	
一般注意事項	6
ブレード	
一般注意事項	8
水冷却	8
様々な素材に対応するダイヤモンドブレード	8
ダイヤモンドブレードの研ぎ方	8
ダイヤモンドブレードの振動	8
ドライブ	8
搬送と保管	9
組立と調整	
ブレードの取り付け	10
水ホース	11
燃料の取扱	
一般注意事項	12
燃料	12
給油	12
搬送と保管	13
操作	
保護的な装備	14
一般的な安全注意事項	14
搬送と保管	17
始動と停止	
始動前に	18
始動	18
停止	19
メンテナンス	
一般注意事項	20
メンテナンスのスケジュール	20
清掃	21
機能検査	21
ブレードの再利用	26
トラブルシューティング	
トラブルシューティングスケジュール	27
主要諸元	
主要諸元	28
切断装置	29

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ず登録ください。 <http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp>

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社の製品をご購入いただくことで、専門的な修理と点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。常に作業場所ですぐに利用できるようにしてください。説明書の記載内容（使用方法、サービス、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。マシンの売却を希望するときは、必ず買主に取扱説明書も渡してください。

300 年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナはスウェーデンの企業で、その歴史は、スウェーデン王のカール 11 世が Huskvarna 川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイヤモンド工具などのグローバル・リーダーです。

使用者の責任について

マシンを安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。彼らは以下を確認する必要があります。

マシンの安全に関する説明事項。

マシンの用途や使用限度の範囲について。

マシンの使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

特長

ハスクバーナの製品は、高性能、高信頼性、革新的技術、先進的な技術的ソリューション、および環境への対応など、様々な特長により、他社と一線を画しています。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

防塵スターターユニットです。密閉された内部にリターンスプリングとプーリーベアリングがあり、これによりスターターが実質的にメンテナンスフリーになり、信頼性も高まります。

X-Torq®

X-Torq® エンジンとは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切削能力を実現します。X-Torq® は、燃料消費を最大 20%、排出ガスを最大 60%削減します。

EasyStart

迅速で簡単なマシン始動ができるようエンジンとスターターが設計されています。スターターコードの引っ張り抵抗が 40% 減少しています。（始動時の圧縮を減少）

エアパージ

エアパージダイヤフラムを押すと、燃料はキャブレターへ送られます。エンジンは、スターターを数回引くことで簡単に始動できます。

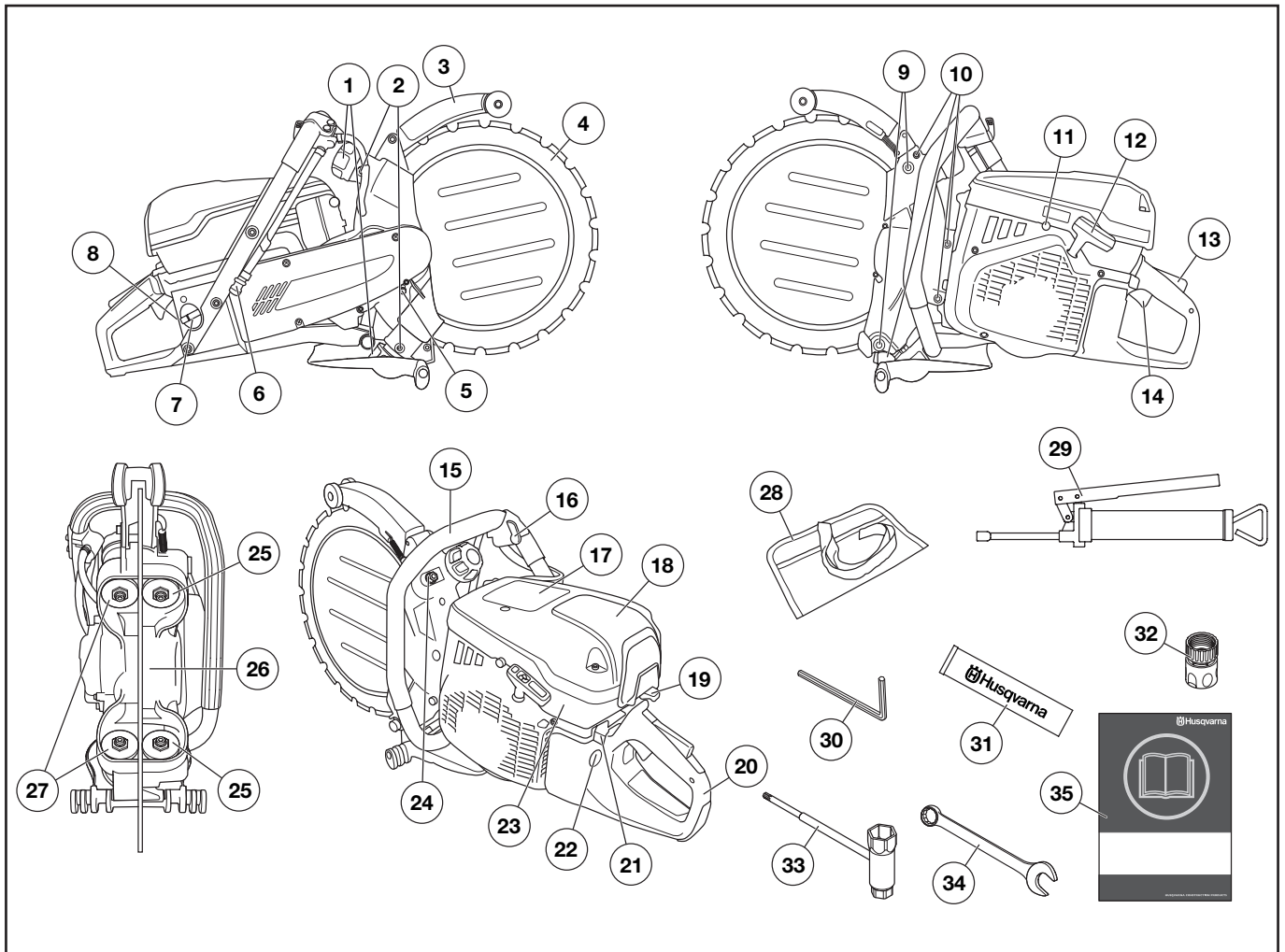
効率的な振動軽減システム

効率的な振動軽減システムにより、腕や手に加わる振動を軽減されます。

大きな切削深度

切削深度 260 mm（10 インチ）と、これまでのブレードに比べて 2 倍になりました。片側からより効率的に切削を行います。

各部分の説明



パワーカッターの各部名称

- 1 ガイドローラーのコントロール
- 2 グリースニップル
- 3 ブレードガード/スプレーガード
- 4 ダイヤモンドブレード
- 5 ドライブホイールのロックボタン
- 6 フィルター付き給水接続部
- 7 燃料キャップ
- 8 規格プレート
- 9 調節ねじ
- 10 カバーネジ
- 11 デコンパバルブ
- 12 スターターハンドル
- 13 スロットルロック
- 14 スロットルトリガー
- 15 フロントハンドル
- 16 水タップ
- 17 警告シール
- 18 エアフィルターカバー

- 19 チョーク
- 20 リヤハンドル
- 21 ストップスイッチ
- 22 エアパージ
- 23 シリンダーカバー
- 24 サポートローラーアームのロックねじ
- 25 サポートローラー
- 26 ドライブホイール
- 27 ガイドローラー
- 28 ツールバッグ
- 29 グリースガン
- 30 6 mm 六角キー
- 31 ベアリンググリース
- 32 水コネクター、GARDENA®
- 33 コンビレンチ、トルクス
- 34 オープンエンドスパナー、19 mm
- 35 取扱説明書

一般注意事項

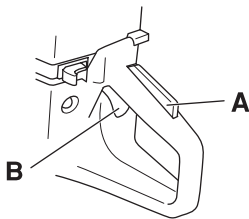


警告！安全装置に欠陥のあるマシンは決して使用しないでください。点検中にマシンの異常に気がついたときは、サービス代理店に修理をご依頼ください。
ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

この項目では、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。

スロットルロック

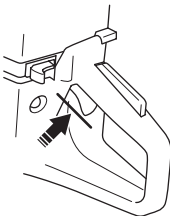
スロットルトリガーロックはスロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) を押すと、スロットル (B) が解除されます。



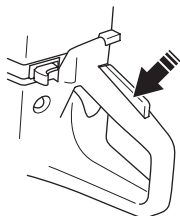
スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2 つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドリング状態でロックされることを意味します。

スロットルロックの検査

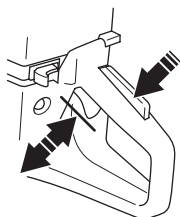
・



・



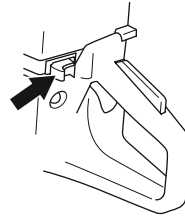
・



・

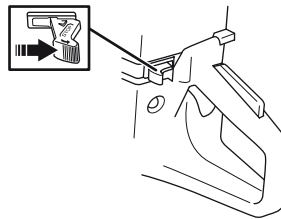
ストップスイッチ

ストップスイッチはエンジンを切るときに使用します。



ストップスイッチの検査

・

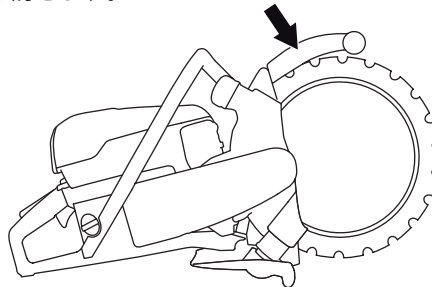


ブレードガード



警告！本機を始動する前は常に、ガードが正確に装着されていることを確認してください。

このガードは、ブレードの上部に取り付けられ、ブレードの部品や切断において生じた破片が、操作者に飛び散ることを防ぎます。



ブレードガードの検査

・

・

振動軽減システム

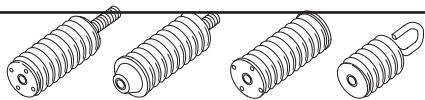


警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。振動が原因と思われる症状が出たときは、医師に相談してください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

・

・

マシンの安全装置



振動軽減システムの検査



警告！エンジンを切って、ストップスイッチをSTOP 位置に合わせます。

- ・
- ・

マフラー



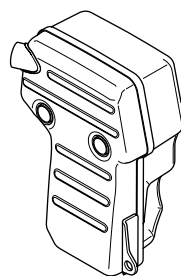
警告！マフラー無しのマシンや欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消火装置をお手元に装備してください。

マフラーは、使用中および使用直後ともに非常に熱くなります。このことはアイドリング中にも該当します。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、直接的な排気ガスから使用者を護る働きをします。

マフラーの点検

マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的を確認します。



ブレード

一般注意事項



警告！ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。



警告！ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。誤った使用はブレードの過熱を引き起こし、ブレードの変形によって、損傷や傷害を招くことがあります。

- ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。

水冷却



警告！湿式切断用のダイヤモンドブレードは、水によって継続的に冷却してください。これによって、ブレードの変形による破損や使用者に対する傷害の原因となりうる過熱を防ぎます。

- 水冷却をいつも使用してください。湿式切断をするときは、過熱を防ぐためにブレードが継続的に冷却されるようにします。

様々な素材へ対応するダイヤモンドブレード

- ダイヤモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。
- 当社は、様々な物質にあわせて、幅広い種類のブレードを用意しています。用途に合わせたブレードを選択できるよう、ハスクバーナの販売代理店に問い合わせてください。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

- 常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。
- ダイヤモンドブレードは、フィード時に間違った圧力をかけたり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断すると、鋭さが失われます。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆるみを発生させることがあります。
- 砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

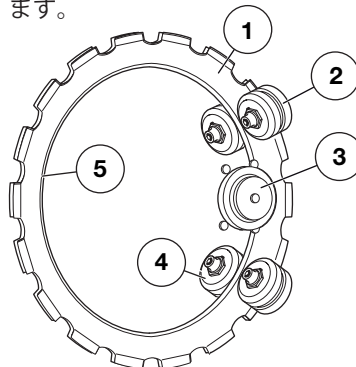
ダイヤモンドブレードの振動

- 使用時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。
- フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。

ドライブ

マシンの独特な設計により、ドライブの動力は、ブレードの中心部分に移るわけではありません。

2つのガイドローラー上のフランジが、ブレードの溝において動作します。ガイドローラー上のスプリングがローラーを押し出し、一方で、ローラーがブレードの内径上にあるV字型のエッジを、ドライブホイールのV字型の溝に対して押し出します。ドライブホイールは、ドライブベルトを通じて動作する軸に装着されています。これにより、350 mm (14 インチ) のダイヤモンドブレードによって、合計 260 mm (10 インチ) の深さの切断を行うことができます。



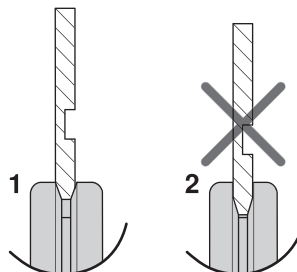
- 1 ブレード
- 2 サポートローラー
- 3 ドライブホイール
- 4 ガイドローラー
- 5 V字型エッジ

摩耗の検査

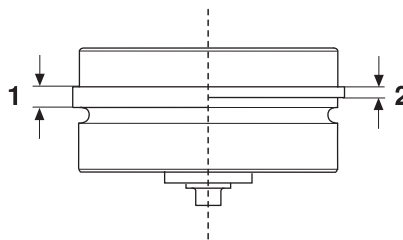
ブレードが使用されると、内径とドライブホイールの溝が摩耗します。

リングカッターは、以下の場合に良好に動作します：

- ドライブホイールが摩耗しすぎていない
 - 1) 新品
 - 2) 磨耗している



- ガイドローラーが摩耗しすぎていない
 - 1) 新品、3 mm (0.12 インチ)
 - 2) 磨耗している、 ≤ 1.5 mm (0.06 インチ)



ブレード

- ローラーとブレード間の調整が正しいとき。「組立と調整」の項にある指示を参照してください。
- ローラーの設定は、ダイヤモンドブレードの寿命の間、2回、検査をする必要があります。ブレードの装着時と、ブレードが半分程度に摩耗しているときです。

搬送と保管

- ブレードは乾燥した場所に保管します。
- 新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

組立と調整

ブレードの取り付け



警告！使用済みのブレードを再利用することは厳禁です。使用済みのブレードは弱くなっています。ブレードを再利用すると、ひび割れや、砕けたりすることがあり、使用者や周囲の人に重大な傷害を引き起こすことがあります。

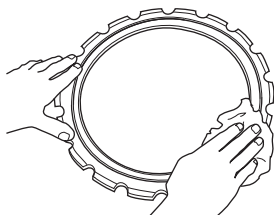


警告！マシンに装着する前に、ブレードに損傷がないことを確認します。損傷したブレードは、破損し、人に対して重大な傷害を負わせることがあります。

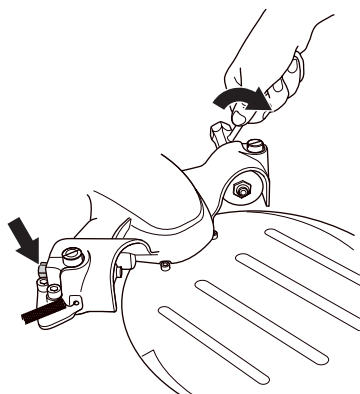
注意！新しいブレードを装着するときは、ドライブを交換します。摩耗したドライブホイールは、ブレードが滑ったり、損傷を招くことがあります。

水の流れが不十分だと、ドライブホイールの寿命が著しく短縮されます。

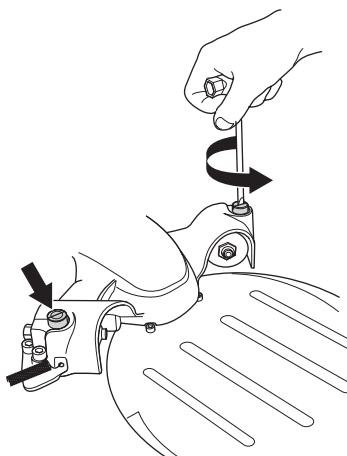
- ブレードの表面の汚れをふき取ってください。



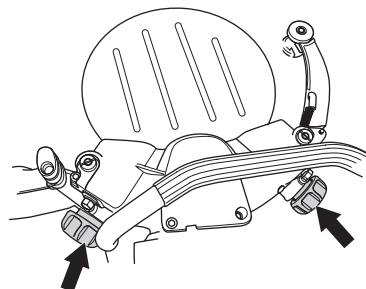
- サポートローラーカバー上のロックねじをゆるめます。



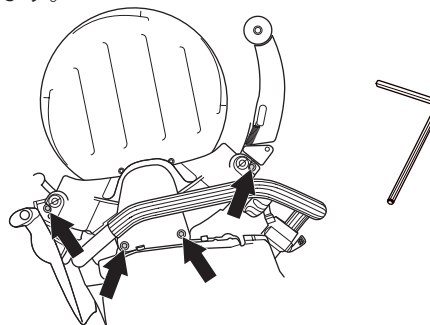
- 調節ねじを数回ひねり、ねじを外します。



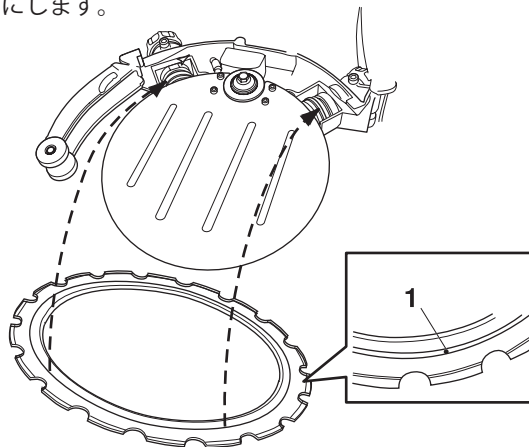
- ノブをゆるめ、スプリングを外します。



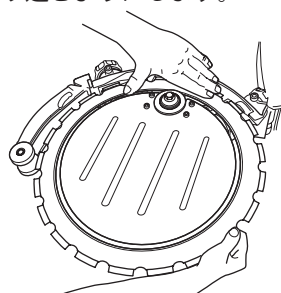
- 6 mm の六角キーをしようして、サポートローラーガードを保持している4つのねじを取り除き、カバーを持ち上げます。



- ブレードを装着します。
- ブレードには、一方の側に溝 (1) があり、これはサポートローラーのガイド溝としての役割があります。ブレードのV字型のエッジが、ドライブホイールに取り付けられ、ブレードのガイド溝がガイドローラーに装着されているようにします。

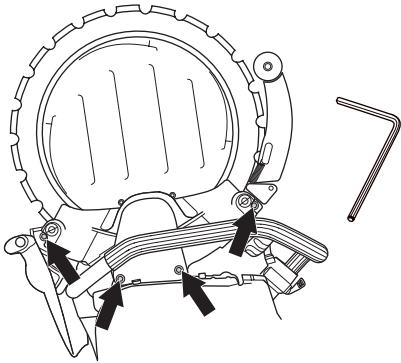


- ブレードのV字型のエッジが、ドライブホイールに取り付けられ、ブレードのガイド溝がガイドローラーに装着されているようにします。詳細は、「ブレード」を参照してください。
- 必要であればガイドローラーを押して、ブレードの溝に入り込むようにします。

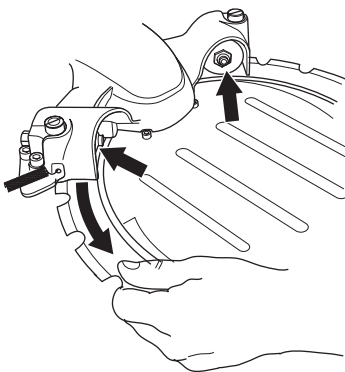


組立と調整

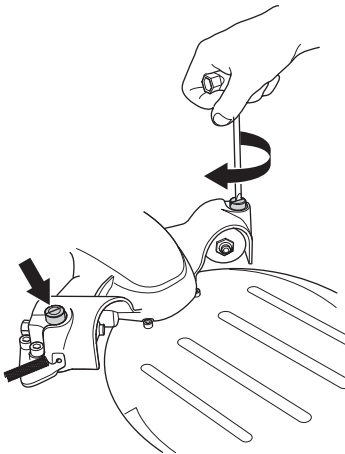
- サポートローラーカバーを装着します。4つのねじを十分に締めます。



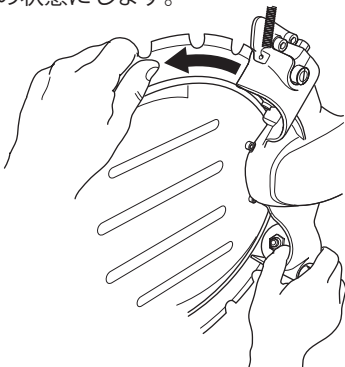
- ブレードを回転させ、サポートローラーがブレードに引っかかっていないことを確認します。



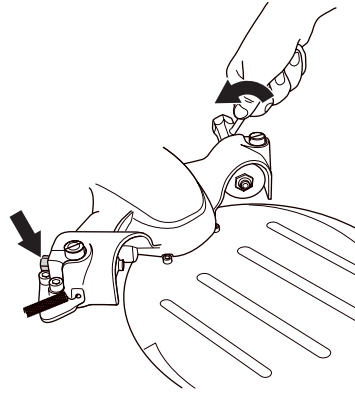
- 調節ねじを調節し、サポートローラーがブレードに対して接触しているようにします。



- ブレードが回転しているときに、親指を使用して、サポートローラーが容易に停止できるように調節します。サポートローラーは、時々ブレードの動きにあわせるのみの状態にします。

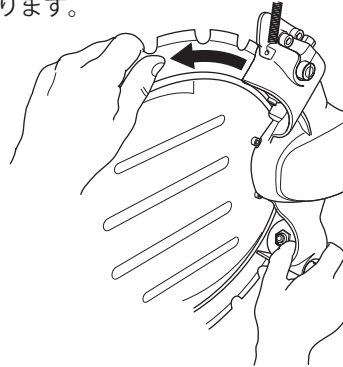


- サポートローラーガード上のロックねじを締めます。

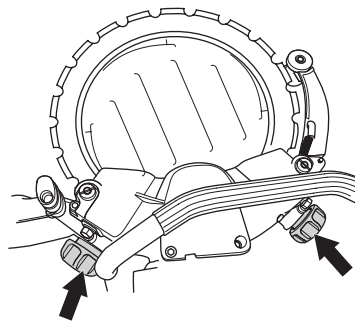


- ブレードを回転させ、ブレードが回転しているときに親指でローラーを保持することができるか確認します。

ロール圧力を確認するときは、マシンは直立させておく必要があります。マシンを寝かせた状態にすると、ブレードの一方の側の重さにより、正しく調整することができなくなります。



- ノブを十分に締めると、マシンの使用準備ができます。

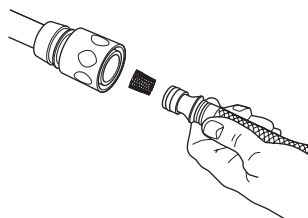


注意！正しくない調整は、ブレードに損傷を与えることがあります。

ブレードの回転が遅いとき、停止したときには、すぐに切断をやめ、問題を解決してください。

水ホース

水ホースを水供給部分に接続します。検査バルブを開けることによって、水が流れます。最小水量：4 l/分 マシンのホースニップルにフィルターが装着されているようにします。



燃料の取扱

一般注意事項



警告！密室や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間がそれを吸いこんだり、皮膚に付けたりすると深刻な傷害を引き起こすことがあります。このため、燃料を取り扱い際は細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となり得ます。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください！

燃料付近では、喫煙したり、熱いものを置いたりしないでください。

燃料

注意！本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクル・エンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- 無鉛または有鉛の良質なガソリンをご使用ください。
- 推奨される最低オクタン価は 90 です。90 以下のオクタン価でエンジンを作動させると、ノッキングの原因となることがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンをお奨めします。

環境燃料

エコガソリン（アルキレート燃料）や、4 サイクルエンジン用のエコガソリンに 2 サイクルオイルを下表のとおり混合したものの使用を推奨します。

エタノールを混合した燃料、E10 が使用できます（エタノールの混合率最大 10%）。E10 を超えたエタノール混合燃料の使用は動作条件を劣化させて、エンジンの損傷を引き起こします。

2 サイクルオイル

- 最良の効果を得るに、HUSQVARNA 2 サイクルオイルをご使用ください。このオイルは本機の 2 サイクルエンジン用として特別に作られています。
- アウトボードオイル (TCW) と呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルの全量を入れます。混合燃料をよく混ぜ（振り）ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。
- 1 ヶ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比

- 1:50 (2%)、HUSQVARNA 2 サイクルオイル
- JASO FB/ISO EGB またはそれ以上の分類の空冷、2 サイクルエンジン用として意図されたその他のオイル 1:33 (3%)

ガソリン、リットル	2 サイクルオイル、リットル	
	• 2% (1:50)	• 3% (1:33)
5	0,1	0,15
10	0,20	0,30
15	0,30	0,45
20	0,40	0,60

給油



警告！給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

燃料キャップの周囲をきれいにします。

給油後は燃料キャップをしっかりと閉めてください。それらを怠ると火災を引き起こす原因となります。

給油後は、給油した場所から少なくとも 3 m 離れたところで始動してください。

下記の条件では、決して本機を始動しないでください：

- マシンに燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料をこぼしたとき。まず着替えを行います。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。

燃料の取扱

搬送と保管

- パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー / スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や輸送を行う場合は、常に認可された専用容器を使用してください。

長期間の保管

- パワーカッターを長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余分な燃料の処分方法については、地域のガソリンスタンドにお尋ねください。

操作

保護的な装備 一般注意事項

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

使用者の身体保護具



警告！材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質をチェックして、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- イヤマフ
- 認可された視覚保護具。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合しなければなりません。
- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋。
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。

使用者の身体保護具



注意！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消火装置をお手元に装備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- マシンは清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

発生する可能性のあるすべてを予測することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください！



警告！警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業員や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

子供やマシンの扱いに不慣れな人間にマシンを使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。



警告！承認のない変更および／または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくマシンの設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。



警告！本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によっては能動あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。

職場の安全



警告！パワーカッターの安全距離は 15 メートルです。使用者は、動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

- 周囲の状況をチェックして、マシン使用に影響があるものを除去してください。
- 人間や物体が切断装置に接触しないこと、さらに、ブレードが破損した場合、その破片が人間や物体にぶつからないことを確認してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- 作業場所にある障害物を片付け、足場を確保してから切断作業を開始してください。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時に切断物が安定を失い倒れて、障害を引き起こさないように注意してください。斜面での作業は特に注意が必要です。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- 配管や電気ケーブルが、作業現場や切断する材料を通っていないことを確認してください。

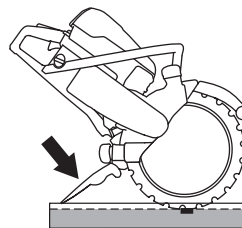
基本的な作業方法



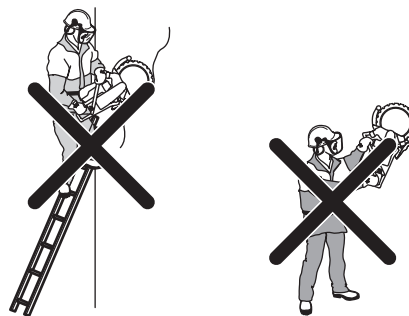
- **警告！パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。**
- いかなる場合でもブレードの側面を使用して切断しないでください。こうすると必ず破損や損傷を招いたり、重傷を引き起こすことがあります。刃先の部分のみを使用してください。
- ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。ダイヤモンドブレードでプラスチック材料を切断しないでください。

- マシンは、リングカッター用のダイヤモンドブレードによる切削が実施できるように開発されています。本機は、他のブレードの装着、あるいは他の切削での使用について認められていません。
- エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。
- 切断装置が回転している状態で、パワーカッターを移動しないでください。マシンには、停止時間を短縮するための摩擦抑制装置が備わっています。

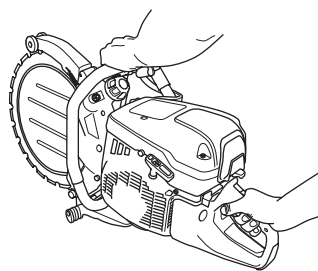
- カutting装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。



- ブレードのキックバックゾーンを切削のために使用しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。ハシゴに乗って切断しないでください。高所で作業する場合は、台や足場を利用してください。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。



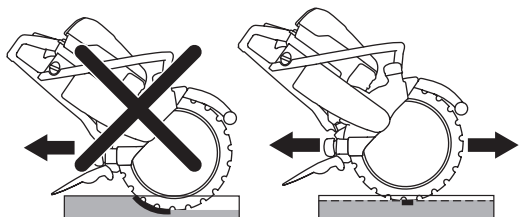
- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- マシンが始動したときは、ブレードが何かに接触しないようにします。
- 切削ブレードに対して、高速回転（フルスロットル）を徐々に適用し、切断が終了するまでフル回転を維持します。
- マシンを動作させるときは、ブレードに力を込めたり、押したりしてはいけません。
- ブレードの切断部分の端のみ使用します。

操作

- マシンを、ブレードと同じ方向に動かします。横からの圧力は、ブレードに損傷を与え、非常に危険です。

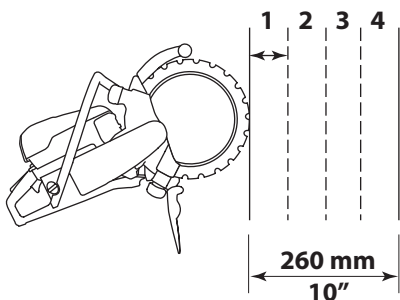


- ブレードをゆっくりと前後に動かし、ブレードと切断対象の物との間の接触面が小さくなるようにします。これにより、ブレードの温度を低く保つことができ、効率的に切断を行うことができます。



切断の深さ

K 970 リングは、260 mm (10 インチ) の深さまで切断することができます。まず 50-70 mm (2-3 インチ) の切断を行い、それに沿って切断していくことで、マシンのコントロールを良好に保つことができます。水ディスクを作業場所で利用することができ、マシンのコントロールの助けになります。1 度に深いところまで切断しようとする、時間がかかってしまいます。数回にわたり作業をします。260 mm (10 インチ) の深さの切断を 3 ~ 4 回にわたって行うことにより、より早く切断することができます。



重作業

1 メートルを超える切断の場合は、切断ラインに沿って当て木をします。当て木は、ガイドの役割をします。このガイドによって、切断部分の全体にわたり、50-70 mm (2-3 インチ) の深さの切断マーキングを行います。切断マーキングが終了したら、ガイドを取り除きます。



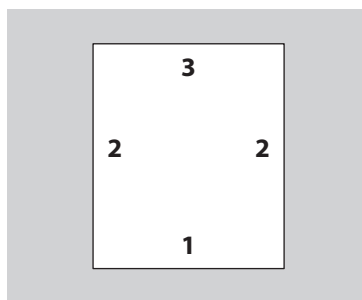
軽作業

まず、50 ~ 70 mm (2 ~ 3 インチ) の深さで、浅いマーキングを行います。次に、最終的な切断を行います。

穴開け

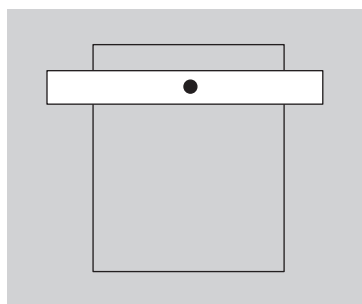
注意！ 上側で行う水平方向の切断を、下側で行う水平方向の切断よりも前に行うと、作業対象物がブレードに落下し、ブレードが躯体に挟まることがあります。

- まず、下側で水平方向の切断をします。次に、2 つの垂直方向の切断をします。最後に、上側の水平方向での切断をします。



- ブロックが安全に移動でき、持ち上げが可能となるように、取り扱いができる大きさに切り分けるようにします。

大きい穴を開けるときは、切断する材料が作業者に向かって落ちてこないように固定することが重要です。

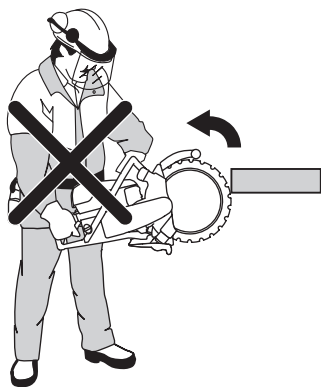


キックバック



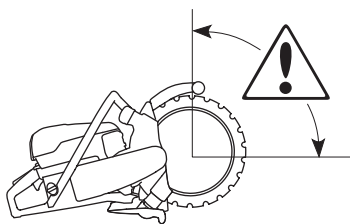
警告！キックバックは突然激しく起こり、パワーカッターがはじき返されて、カッティングブレードが使用者に向かってくる現象を言います。カッティングブレードの回転中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術と慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

キックバックとは、ブレードの上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）が何か他のものに接触し、パワーカッターとカッティングブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。



一般的な注意事項

キックバックは、切断ブレードのキックバックゾーンが物に接触したときにのみ、発生します。



- ブレードのキックバックゾーンを切削のために使用しないでください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 常に最高速度で切断してください。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。すでに切断済みの幅の小さい切れ目を切断しないでください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

ピンチングキックバック

ピンチングとは、切削部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

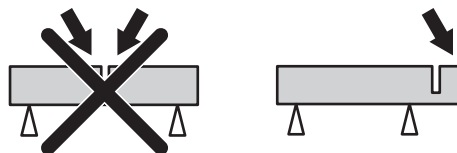


ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワー・カッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切削の最後まで切削部が閉じないようにしてください。切削部分が開いていれば、キックバックは発生しません。切削部が閉じて、ブレードが挟まると、常にキックバックの危険があります。



- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかり固定してください。
- ブレードの輸送と保管については、「ブレード」をご覧ください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取り扱い」をご覧ください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。

始動と停止

始動前に



警告！本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

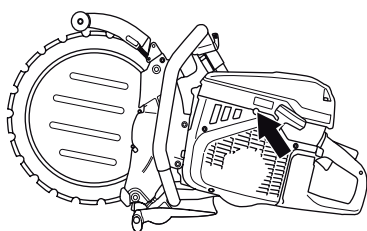
深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。火災の危険性。

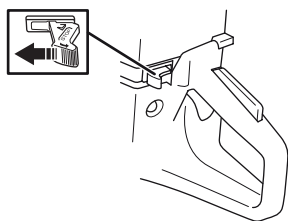
- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

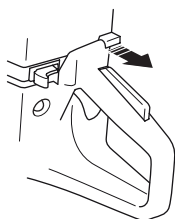
- **デコンプレッサーバルブ**：シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプレッサーバルブは、始動時には常に使用してください。パワーカッターの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



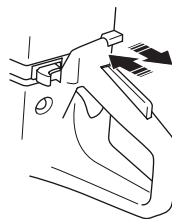
- **ストップスイッチ**：ストップスイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。



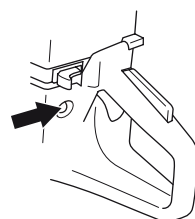
- **スタートスロットル位置 - 常温エンジン**：チョークを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。



- **スタートスロットル位置 - 暖気エンジン**：チョークコントロールを一度チョークの位置に引いてすぐ元に戻すと、チョーク/スタートスロットルは正しく設定されます。これはチョークの存在しないスタートスロットルの設定のみに関連します。



- **エアパージ**：燃料がダイヤフラムを満たすまでエアパージダイヤフラムを繰り返し押します（最低6回）。ダイヤフラムが完全にいっぱいになるまで注入する必要はありません。

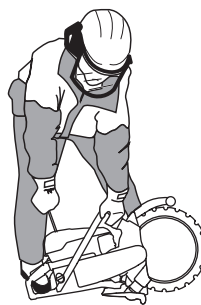


エンジンの開始



警告！カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。ブレードが自由に回転することを確認してください。

- 左手で前ハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。

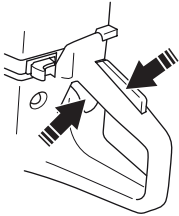


- 右手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる（歯止めにかかる）までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張ります。

注意！スターターロープをいっぱい引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターに損傷を与える可能性があります。

始動と停止

- 常温エンジンの場合：エンジンが点火しても、チョークコントロールが引かれるとマシンが停止します。
- チョークコントロールとデコンプレッサーバルブを押してください。
- エンジンが始動するまで、開始ハンドルを押します。
- エンジンが始動したら、素早くフルスロットルにすることにより、自動的に高速アイドリングが開放されます。

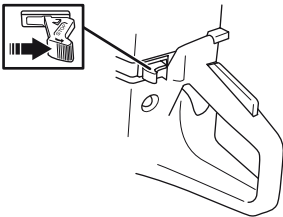


停止



注意！カッティングブレードは、モーターが停止した後も一分間程度回転を続けます。（ブレードコースティング）カッティングブレードは完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、重大な傷害を引き起こすことがあります。

- ストップスイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。



メンテナンス

一般注意事項



警告！使用者は本取扱説明書に記載されている点検とサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると、機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ・ ハスクバーナの販売店には定期的にマシンの検査をさせ、不可欠な調整や修理を行わせてください。

メンテナンスのスケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要なマシンの箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。実施間隔は、マシンが毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日のメンテナンス	毎週のメンテナンス	毎月のメンテナンス
清掃	清掃	清掃
外部清掃		スパークプラグ
吸気口の冷却		燃料タンク
機能検査	機能検査	機能検査
一般点検	振動軽減システム *	燃料システム
スロットルロック *	マフラー *	エアフィルタ
ストップスイッチ *	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ブレードガード *	キャブレター	
ダイヤモンドブレード **	スターター	
ガイドローラー		
サポートローラー		
ドライブホイール		

* 詳細は、「マシンの安全装置」を参照してください。

** 「ブレード」および「組立と設定」の説明を参照してください。

メンテナンス

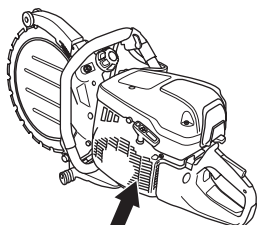
清掃

外部清掃

- 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。

吸気口の冷却

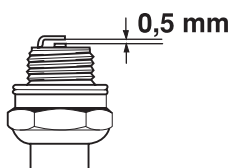
- 必要に応じて冷却用吸気口を清掃してください。



注意！吸気口が汚れたり詰まっていると、パワーカッターが過熱状態になり、ピストンやシリンダーに損傷を与えることになります。

スパークプラグ

- パワーカッターの出力が低い、始動困難、アイドリング中の走行不良などの場合、まず始めにスパークプラグを常に点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが 0.5 mm かどうか確認します。必要なら交換します。



注意！スパークプラグは必ず推奨タイプのものを使用してください！不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーを損傷する原因となります。

これらの原因により、スパークプラグの電極に付着物が生じ、結果として故障や始動不良を起こす可能性があります。

- 誤った混合燃料（オイル過多または間違ったオイルの使用）
- 汚れたエアフィルタ

機能検査

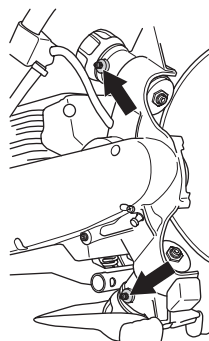
一般点検

- ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。

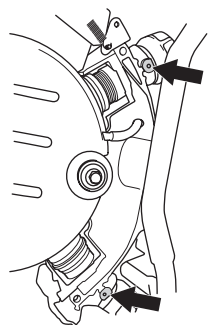
ガイドローラー

ガイドローラーの潤滑

- グリースガンでグリースニップルに接続します。



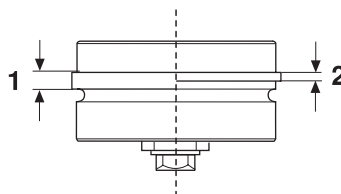
- グリースが流出口から現れるまで、グリースを入れます。



サポートガイドローラーの交換

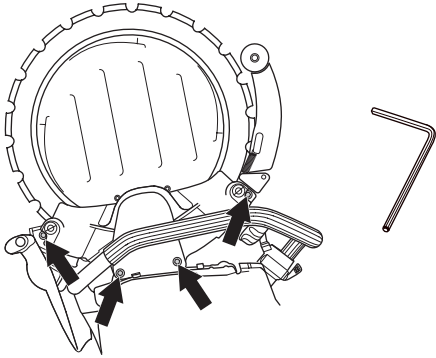
ローラー上のフランジの半分が摩耗しているときは、ガイドローラーを交換します。

- 新品、3 mm (0.12 インチ)
- 磨耗している、 ≤ 1.5 mm (0.06 インチ)

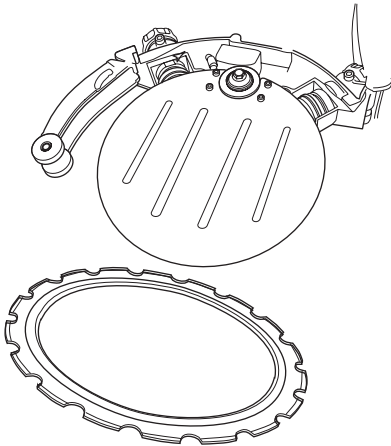


メンテナンス

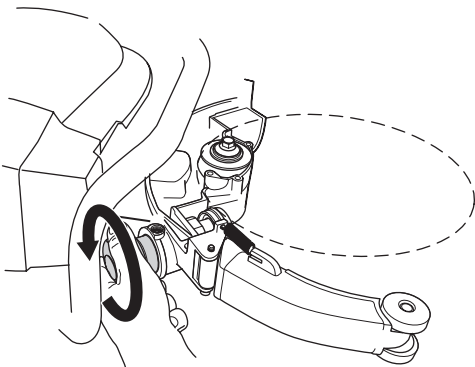
- サポートローラーカバーを装着します。



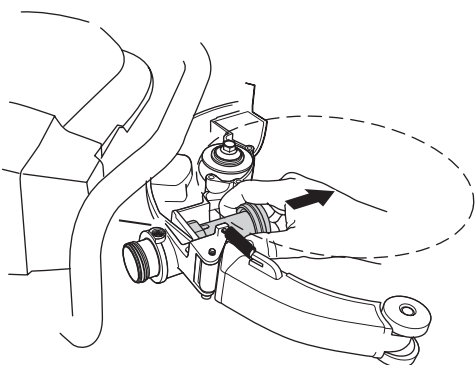
- ブレードを持ち上げて外します。



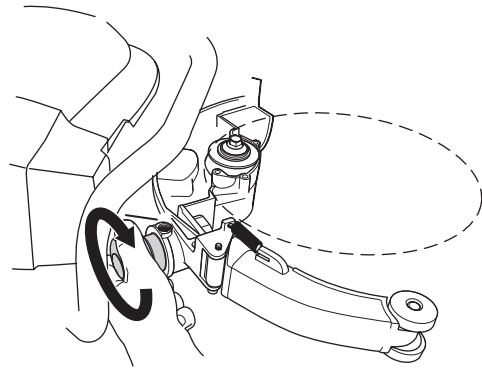
- ノブのねじを外します。まず、抵抗を感じるまで、ノブを数回回します。ガイドローラーは、ノブに沿って動き、抵抗を感じた時点で停止します。ガイドローラーは、ノブに対して押されます。ガイドローラーをゆるめるためには、ノブが完全にゆるまるまで回し続ける必要があります。



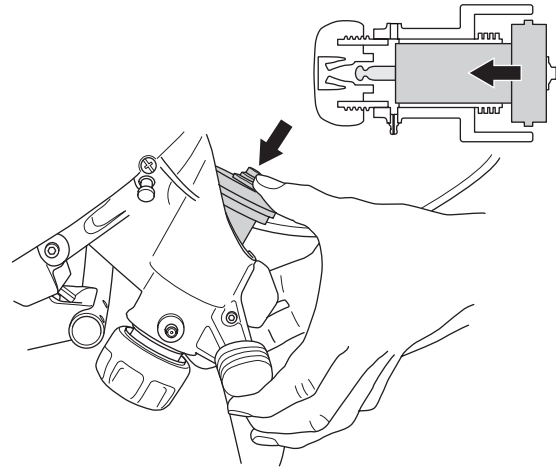
- ガイドローラーを、シャーシから引き出すことができますようになります。



- ノブが下に達するまで回し、ノブを2回転ゆるめます。



- ガイドローラーをシャーシに挿入します。ガイドローラーをノブに対して押します。



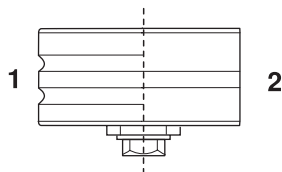
- ガイドローラーの潤滑「ガイドローラーの潤滑」の説明を参照してください。
- ブレードを装着します。「組立と調整」の項にある指示を参照してください。

メンテナンス

サポートローラー

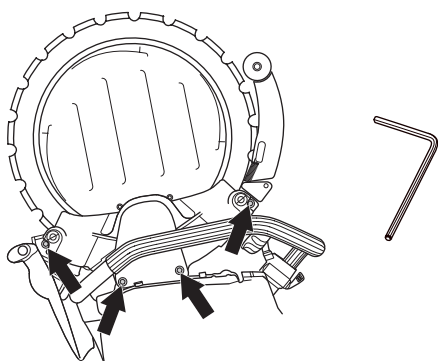
ローラーの表面が平らであったり、ローラーの表面上の溝が摩耗しているときは、サポートローラーを交換します。

- 1) 新品
- 2) 磨耗している

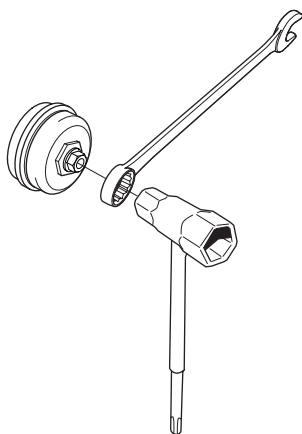


サポートローラーの交換

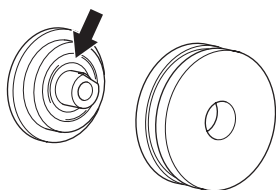
- サポートローラーカバーを装着します。



- ローラーを交換するときは、19 mm の固定スパナ、および 13 mm のコンビレンチを使用します。



- 新しいローラーを装着する前に、ベアリンググリースをローラー内部に使用して潤滑させます。



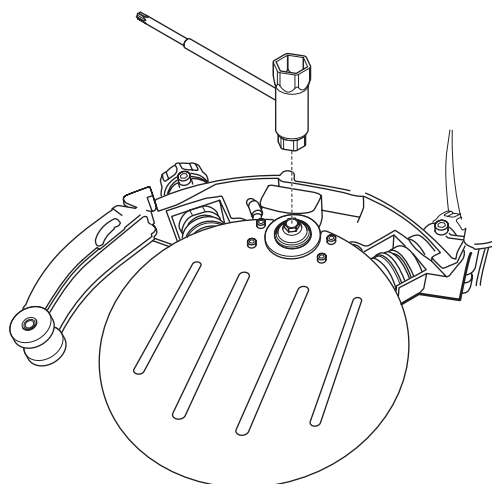
ドライブホイール

注意！新しいブレードを装着するときは、ドライブを交換します。摩耗したドライブホイールは、ブレードが滑ったり、損傷を招くことがあります。

水の流れが不十分だと、ドライブホイールの寿命が著しく短縮されます。

ドライブホイールの交換

- ロックボタンを使用して、軸をロックします。
- 中心ねじをゆるめ、ウォッシャーを取り除きます。



- ドライブホイールを持ち上げることができます。

駆動ベルト

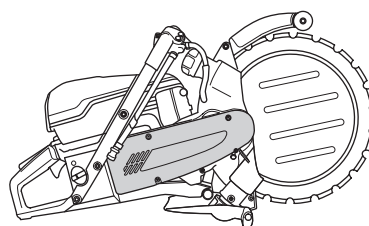
駆動ベルトの張り具合

駆動ベルトが滑る場合は、締める必要があります。新しい駆動ベルトは、燃料を 1 または 2 タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。

マシンに摩擦抑制装置が備わっている場合、手でブレードの向きを変えると、引っかくような音が聞こえることがあります。これは極めて正常です。ご質問があれば、Husqvarna の正規取扱店にお問い合わせください。

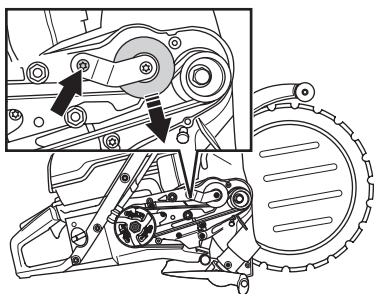
駆動ベルトは密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。

- カバーを取り外し、ベルト引き締めねじをゆるめます。



メンテナンス

- ベルトを引き締めるには、親指でベルト締めを押します。ベルト締めを保持しているねじをしめます。

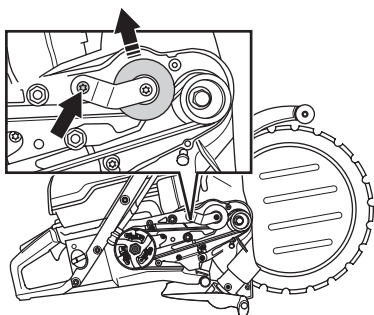


駆動ベルトの交換



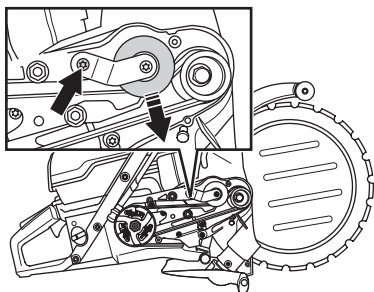
警告！ ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、パワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- カバーを取り外し、ベルト引き締めねじをゆるめます。ベルト引き締めローラーを押し、新しいドライブベルトを取り付けます。

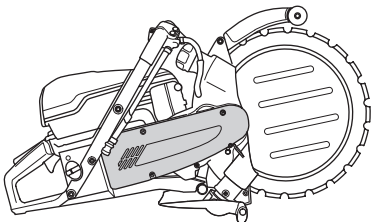


注意！ 新しいベルトを取り付ける前に、両方のベルトプーリーに汚れがなく、損傷がないことを確認します。

- ベルトを引き締めるには、親指でベルト締めを押します。ベルト締めを保持しているねじをしめます。



- ベルトカバーを取り付けます。



キャブレター

キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います：

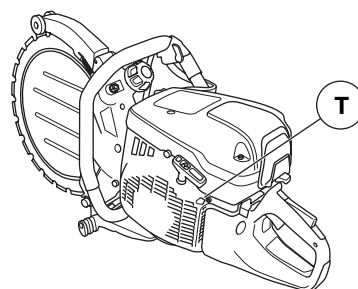
- エアフィルタを点検し、必要であれば交換します。効果がないときは、弊社指定のサービス代理店に問い合わせてください。

アイドリング速度の調整



注意！ アイドリング速度を調整しても、ブレードを停止させるような設定に調整できない場合は、販売店 / サービス代理店に問い合わせてください。パワーカッターのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

- エンジンを始動しアイドリング設定をチェックします。キャブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずですが、
- アイドリング速度をTスクリューで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、スクリューを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、スクリューを反時計回りに回します。



推奨アイドリング速度：2700 rpm

スターター

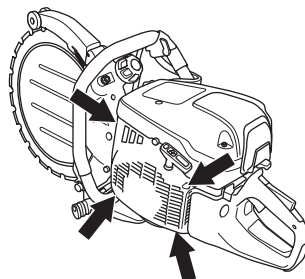


警告！ リコイルスプリングは引っ張られた状態でスターターハウジング内に収まっているので、不注意に取り扱ったり飛び出して人的傷害をもたらすことがあります。

リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深く行ってください。常に保護めがねを着用してください。

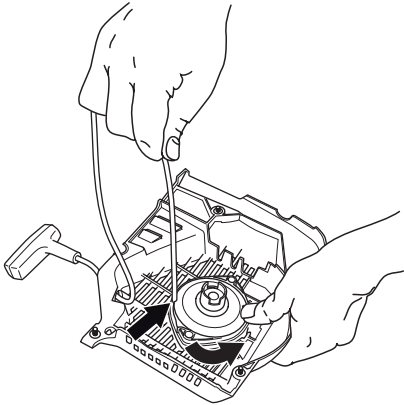
スターターコードの点検

- スターターをクランクケースに固定しているねじをゆるめ、スターターを外します。



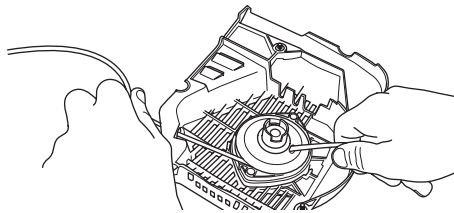
メンテナンス

- コードを約 30 cm 引き、スタータープーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合：スプリングの張力を、プーリーをゆっくりと逆に回転させることにより、解放します。

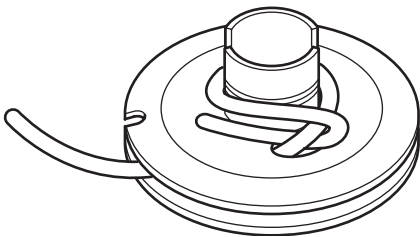


切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプーリーの穴を通して挿入します。

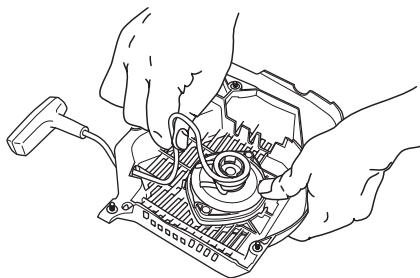


- スターターコードを、図のとおりコードプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



リコイルスプリングの伸張

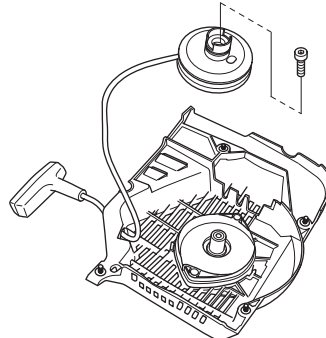
- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを 3 回時計回りに巻きつけます。



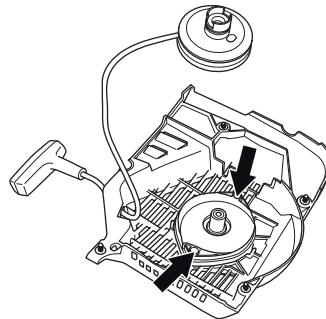
- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度以上を繰り返しますが、今回は 4 回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーの速度をゆるめ、プーリーを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

破損したリコイルスプリングの交換

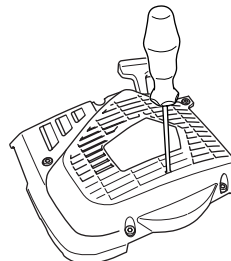
- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。



- リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることを注意してください。
- スプリングカセットを固定しているボルトをゆるめます。



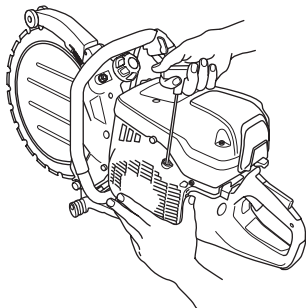
- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組立部を保持しています。



- リコイルスプリングに薄いオイルをさします。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引っ張ります。

スターターの取付

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランク室の所定の位置に置き取り付けます。プーリーの中でつめがかむように、スターターロープをゆっくり放します。



- ねじを締めます。

燃料システム

一般注意事項

- 燃料キャップとシール部が損傷していないことをチェックします。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

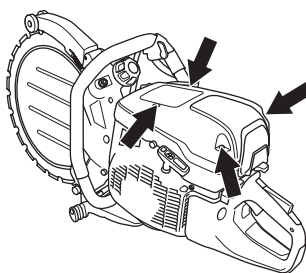
燃料フィルタ

- 燃料フィルタは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクに給油するときは、不純物が入ることがないようにしてください。タンク内の目詰まりによる動作不全の危険を減少させます。
- フィルタが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。燃料フィルタは、少なくとも年に一度交換してください。

エアフィルタ

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルタのみを点検する必要があります。

- ねじを締めます。エアフィルタカバーを取り外します。

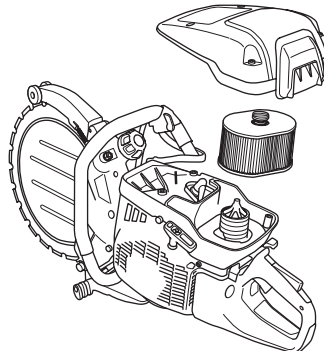


- エアフィルタを点検し、必要であれば交換します。

エアフィルタを清掃します。

注意！エアフィルタは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルタを傷つけることがあります。

- ねじを締めます。カバーを外します。



- エアフィルタを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

ブレードの再利用



警告！リングカッターブレードは、再利用してはいけません。設計により、リングカッターブレードは、中心で動作する14インチダイヤモンドブレードよりも、他の負荷がかかりやすくなっています。まず、ドライブホイールは、ブレードの内径において動作し、ドライブホイールの両表面とブレードが摩耗しやすくなっています。ブレードの中心部が薄くなり、ガイドが広がるため、ブレードがホイールによって動作することが妨げられます。次に、ぶれがちがまっすぐの状態に保持されていないと、ブレードは、ローラーから、および実際の切断プロセスからの負荷を受けます。ブレードへの負荷が積み重なると、再利用されたブレードがひび割れたり、破損したりします。破損したブレードは、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害を引き起こします。この理由から、ハスクバーナは再利用されたリング切断ブレードを承認していません。ハスクバーナの販売店に連絡して、説明を受けてください。

トラブルシューティング

トラブルシューティングスケジュール



警告！ 修理やトラブルシューティングでマシンを操作する必要がある場合は、エンジンを切ってストップスイッチを STOP 位置にしてください。

問題	考えられる原因
ブレードが回転しない。	ローラーノブが完全に締められていない。 ブレードが正しくガイドローラーに取り付けられていない。 ローラーが引き締められすぎている。
ブレードの回転が遅すぎる。	ローラーノブが完全に締められていない。 ドライブホイールの摩耗。 ブレードの V 字型の内径が摩耗している。 ガイドローラー上のスプリングが弱くなっている。 ローラーベアリングの不良。
ブレードがその位置から飛び出す。	ローラーの設定がゆるすぎる。 ガイドローラーの摩耗。 ブレードが正しくガイドローラーに取り付けられていない。 ブレードの損傷。
ブレードがひずみを引き起こす。	ローラーが引き締められすぎている。 ブレードの過熱。
部分的な破損。	曲った、ひずみの生じた、あるいはメンテナンスされていないブレード。 1 部分のみ欠損しているブレードの使用を継続する場合、あるいはブレードが 50% 以上摩耗しているときに、再利用のためにほうっておく場合。
ブレードの切断が遅すぎる。	対象となる物質に適したブレードを使用していない。
ブレードが滑る。	ガイドローラーが自由に動いていない。ローラーが自由に動けない状態だと、ブレードをドライブホイールに対して十分に強く推すことができない。 ドライブホイールの摩耗。切断がホイールの摩耗を増加させるときに、物質が研磨性であり、水が余りに少ない。 ガイドローラーフランジの摩耗。フランジの幅の半分以上が摩耗していると、ブレードが滑る。 ブレードの溝と内部エッジが摩耗している。研磨性の物質による弱いフラッシングや、ブレードの滑りを引き起こすドライブホイールの摩耗。

主要諸元

主要諸元

エンジン	K970 リング
排気量、cm ³	93,6
シリンダー内径、mm	56
ストローク、mm	38
アイドル回転数、min-1	2700
推奨される最大アイドルリング速度、rpm	9300 (+/- 150)
出力、kW/ rpm	4,8/9000
イグニションシステム	
メーカー	SEM
型式	CD
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/NGK
	BPMR 7A
電極ギャップ、mm	0,5
燃料および潤滑システム	
キャブレターのメーカー	Walbro
キャブレターの型式	RWJ5
燃料タンク容量、リットル	1,0
重量	
燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg	13,6
騒音（注記 1 を参照）	
音響パワーレベル、dB(A) により計測	114
音響パワーレベル、L _{wa} dB(A)	115
音量レベル（注記 2 参照）	
使用者聴覚での等価音圧レベル、dB(A)	103
等価振動レベル、a_{hveq}（注記 3 を参照）	
フロントハンドル、m/s ²	3,8
リヤハンドル、m/s ²	5,1

注記 1：EC 指令 2000/14/EC に則し音響効果 (LWA) として測定した、環境への騒音排出量保証音響と計測音響の違いは、保証音響には指令 2000/14/EC に従って計測結果のばらつきと、同じモデルの異なるマシン間の変動が含まれている点です。

注記 2：等価騒音レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。報告データによれば、マシンの等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1 dB(A) となります。

注記 3：等価振動レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1 m/s² となります。

主要諸元

切断装置

最大周速、m/s	55
ブレード直径、mm/ インチ	350/14
切断深度、mm/ インチ	260/10
最大エンジン速度、rpm	10000
ブレード重量、kg	0,8
寸法	
高さ、mm/ インチ	410/16
長さ、mm/ インチ	715/28
幅、mm/ インチ	260/10
水消費、リットル/分	4

取扱説明書（オリジナル）
1152681-79



2014-08-28 rev. 2